



THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

CHARTERED IN 2010

# 長野ワイズメンズクラブ 会報

2019年

6月 第103号

THE Y'S MEN'S CLUB OF NAGANO

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2018～2019年度主題

国際会長主題「私たちは変えられる」“Yes, we can change”

アジア会長主題「アクション！」“Action”

東日本区理事主題「為せば、成る」

あずさ部部長主題「未来はそれに備える人のものである」

長野クラブ会長主題” Change, challenge, and charge” 変わろう 挑戦しよう そして充電しよう



## 今月の言葉

自分一人の為にしたことは、私たちと共に死ぬ。しかし他の人々、そして世のためにしたことは、永遠に残り、不滅である。

アルバート・パイク (1809-1891)

## 6月例会

日時 2019年6月19日(水) 6:30pm

会場 レストランやま

司会 福島 Y's

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング、ワイズの信条
3. 会長あいさつ
4. ゲスト紹介
5. 東日本区大会報告
6. 今期長野クラブ会計報告など
7. 平和の架け橋プロジェクト2019  
への協力について
8. ワイズディナー
9. ニコニコ献金
10. YMCAの歌、あずさの道
11. 閉会点鐘 会長

## 森重昭さんの成し遂げた事 森本俊子

今期の締めくくりとして区大会に出席してきました。いろいろな事情が重なり私一人の出席となりました。メモリアルアワーで岩田さんと平原さんが紹介されたときは今までのどの大会よりも感慨深い時になりました。

記念講演は「もう一つのヒロシマ、灯籠流し」と題する森重昭さんという歴史研究家のお話と、森さんの研究と証言をもとに作られた映画「灯籠流し (Paper Lanterns)」上映でした。森さんは自身が被爆者で8歳の時に経験した被爆に関わる証言者を訪ね歩く中で、12人の米兵捕虜が被爆死していたことを知り、一人一人の足跡を追い、遺族を探し出すことによりその方たちの慰霊碑も立てた方です。オバマ大統領がヒロシマ訪問の際森さんに歩み寄り抱擁した姿が印象的でした。森さんは学者でもなく歴史が好きで真実を突き止めたいという思いから広島原爆投下について調べて「原爆犠牲者に国境はない」という思いをあらゆる機会を見つけて発表しておられます。

証言を映画にした監督がメッセージの中で引用したのが今月の言葉です。アルバート・パイクという人はアメリカ南北戦争に従事した方、秘密結社フリーメイソンの会員でした。そして、この映画上映に尽力されたのは、宮内友弥理事の夫人ひろみさんで「婦人の友」の会員です。

## 5月のデータ

在籍会員 12名  
例会出席者 6名 (50%)

## 例会のご案内

毎月第3水曜日 2019年6月19日  
18時30分から20時30分  
ところ レストラン やま  
連絡先 会長または書記へ  
tokoton921@gmail.com (森本会長)  
koba31819@outlook.com (小林書記)

会長 森本俊子  
副会長 福島貴和  
書記 小林美彦  
会計 倉石美津子  
ブリテン 堀内雅俊  
担当主事 露木淳司

## 5月の例会報告

出席者 久保田恵子、倉石美津子、小林美彦、福島貴和、（堀内雅俊）、森本俊子、

玉木さんが他の行事への出席のため欠席になり、堀内さんも家庭の事情で評議会に持ち出した「例会の一式」とブリテンを届けてくださって帰られ、勝田さんは体調不良のため欠席というさみしい会になりました。

しかし、評議会が会員の総力と、松本クラブを始め、甲府21クラブや参加者の皆さんの温かい協力により立派にできたことは、とてもうれしくありがたいことでした。ことに、堀内さんには急な依頼により「あずさの道」の音源再生や進行の技術関係を一手にやっていただいた上、懇親会でフルートまで吹いていただき感謝です。福島さんの善光寺案内も多くの方からお礼の言葉が寄せられました。本業とは言えやはり長野の善光寺さんは特別な存在だと思ったことでした。レストランやまのお料理も社長自ら採集していらした山菜がたくさん並び好評でした。人数の掌握がなかなかうまくいなくて、間に入った小林さんや倉石さんは大変でした。会計報告もなされ、ほぼ帳尻があったことも助かりました。なお、評議会の席上、長野クラブの吹き矢体験会に対してCS補助金2万円が交付されました。玉木さんと小林さんが企画実施してくださった事業ですが、クラブの協力があってこそという主張が採択されました。

他に、8月の福島ワイズが中心に進めておられるイスラエルーパレスチナー日本3カ国の若者が交流する「平和の架け橋PROJECT2019」の概要が説明され、8月17日の交流会にはクラブとして参加することになりました。一行は善光寺の盆踊りにも参加するようなので、私たちも一緒に踊ろうと相談が盛り上がりました。

最後に 久保田恵子さんが高齢を理由に今期限りでワイズ退会の意向を示され活動はされなくても、昼間の行事などへは参加願いますなどとお願ひしたところです。車の免許も返上し、車も売却予定とのことでした。

(森本記)



## 第22回東日本区大会報告（一部）

6月1日、2日と国立オリンピック記念青少年総合センターで「つなごう平和への道しるべ」として今年度の東日本区大会が行われ、先立つ代議員にも出席してきました。長野クラブからは勝田さんもエントリーしていましたが、体調が回復せず欠席されました。しかし、あずさ部の方中心に先日の評議会のホストへのお礼やお褒めの言葉など言ってきてくださる方も多く恐縮しました。メモリアルアワーで岩田さんのことが紹介され、自分が書いた原稿ながら改めて岩田さんのことを懐かしく、また残念に思いました。後で、ほかのクラブの方からお悔やみを言っていただきました。岩田さんご本人がブリテンに寄稿されたように、生きがいの花が咲き、出会い、ふれあいの不思議さに感じたワイズライフだったと思います。



大会パンフレット



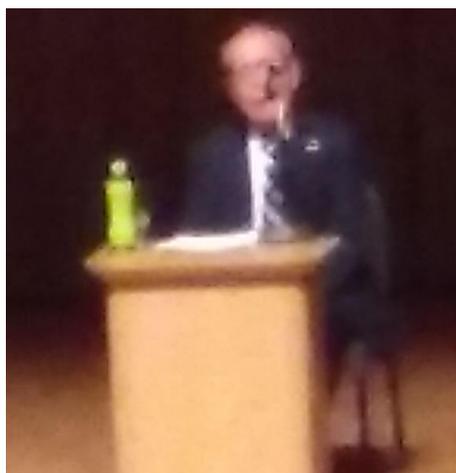
大会旗



メモリアルアワーで岩田幸雄さんが紹介されました。 合掌



森氏講演



新クラブ紹介



## 総決算の6月

6月になりました。各クラブの会長の皆様には一年間本当にお疲れ様でした。YMCAにとっても今月は年度の総決算の月となり、重要な会議が目白押しです。会計監査に事業報告、総会、評議員会、県への報告。そしてチャリティーランに夏休みプログラムの募集作業、さらに今年は新会館建設工事の準備も加わり、目が回りそうです。おかげさまで介護保険事業や児童発達支援事業が軌道に乗り、YMCAの事業規模は拡大しつつあります。職員も大幅に増えました。スタッフ同一丸となって日々を過ごしています。ただその分、運営面での課題や人間関係、施設管理などにおけるトラブルが増えています。大きくなればなったりの備えをしなければなりません。これからもワイズメンの皆様からのご指導が不可欠です。皆様のそれぞれの専門分野を活かしたご支援、そして資金面でのお支えを心より感謝申し上げます。5月から既に真夏日が始まって、今年は暑い期間がとて長いものになりそうです。8月には恒例のフクロウキャンプを実施します。今年もご支援のほどよろしくお願ひします。皆様、健康にはくれぐれもご留意いただき、この夏をご一緒に乗り切りましょう。



## これからの予定

7月13日(土) 第一回評議会  
 7月17日(水) 例会 レストランやま  
 7月19日(金)～21日(日)  
 アジア太平洋地域大会 仙台国際センター  
 8月17日(土) イスラエルパレスチナー日本の若者  
 交流会イン長野 ふれあい福祉センター  
 (その前から青年たちは長野に入って、今年は善  
 光寺の盆踊りにも参加する予定)  
 8月例会は15日にするかどうかが未定です。  
 10月19日(土) あずさ部会  
 2月8日(土) 第2回評議会  
 5月9日(土) 第3回評議会

## クラブ費の振り込みをお願いします

ワイズ会費を払うことが、ワイズ活動のボランティア参  
 加に直結しています。  
 今年度後期会費(1月～6月)18000円のお振り込みをお  
 願ひします。(1年分は36000円です)  
 八十二銀行 昭和通営業部番号214)  
 普通預金 □座番号 871118  
 長野ワイズメンズクラブ会計  
 倉石美津子